

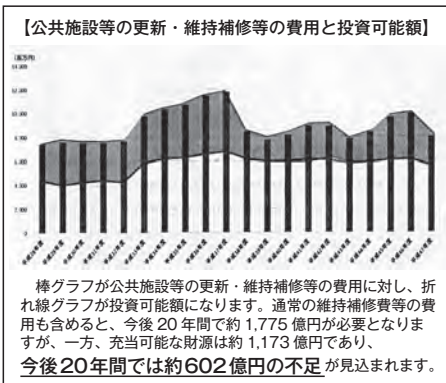


平田 武 議員

震災後の復旧・復興について

問 平成27年度の決算状況から、将来に向けた本市の財政は厳しくなり、復旧・復興のリーダー事業が多いが、生活道路に特化した復旧やスポーツ憲章を樹立した、まちおこしを提言する。また企業立地補助金の精査のあり方について伺う。

答 今後運営経費等の増加が想定され、財政環境は厳しく、建物等は長寿化を図る。小高区民の帰還に向けて



棒グラフが公共施設等の更新・維持補修等の費用に対し、折れ線グラフが投資可能額になります。通常の維持補修費等の費用も含めると、今後20年間で約1,775億円が必要となりますが、一方、充当可能な財源は約1,173億円であり、今後20年間で約602億円の不足が見込まれます。

は、適正な規模を精査して進める。生活道路の改修要望は多く、精査して進める。南相馬市スポーツ推進計画を策定し進める。不正受給が発生したことは極めて遺憾。今後、こうした事態が発生しない様に申請書類の審査、調査を強化し、再発防止に努める。

問 農業の再生について。担い手の確保。風評被害の払拭にどう取り組むのか。有害鳥獣の被害防止対策は。担い手農家の後継者育成について伺う。

答 担い手については各地区共通の課題であり、経営体の確保が必要。風評被害の払拭は地産地消する事が肝要。有害鳥獣は駆除隊に対す

る報奨金で対応して行く。農家の後継者は県やJ.Aと連携し、営農技術等の研修を実施し農業者の経営の安定と強化を図り、国の経営所得安定対策の制度内容を周知する。

問 市立小・中学校の適正規模について。検討委員会を設置し本年中に考察する。

質問を終えて
何年かぶりの登壇。震災の爪跡の大きさと、今後の財政不安と公共施設等の維持費増大。

- その他の質問
- 1 学校教育施設の借地解消について
 - 2 全国学力調査結果について
 - 3 指導力のある教員の確保について



門馬 和夫 議員

市の財政計画と教育振興策は？

問 今後の中期財政見込みや事業計画は。復旧事業の完了に伴い、予算規模は縮小するが、特定財源を確保し収支均衡を図る。ため池の放射性物質の拡散防止対策189億円、農業経営再開支援事業45億円、小高区の復興拠点整備事業など、今後3年間で475億円の投資事業計画。

問 29年度末及び5年後の目標人口は。32年度の市目標人口は5万7千63人、うち小高区は4千722人。29年度末目標人口は、ない。

問 解除後1年位の居住人口で4千人、一方で、日中いてほしい人口で3千人等の種々の市長発言があるが。1千252人帰還して

り、今までの流れからすると、そういった推移になると申し上げた。今は、年単位の目標が必要。市長の頭の中だけでなく、庁内で共有していただきたい。中長期的に重点施策を実施するため、基金活用の考え方は。現在の32基金の統廃合・再編を図る。

特に、137億円の復旧・復興基金は、維持補修費、市債償還、人口・税収増の事業に充てる。

問 日本一の教育に向け、教育振興基金を創設し、中学生全員を外国に派遣する(修学旅行)等を検討しては。一緒くたに海外旅行とはいかないが、修学旅行の意義や基金創設については、保護者や財政担当などと研究する。



これは日本一・MJCアンサンブルの活動

質問を終えて
「飛躍」等の言葉だけでなく、年度末人口など具体的な目標も掲げた復興推進を期待します。

- その他の質問
- 1 全国学力・学習状況調査結果は
 - 2 全国トップレベルの児童生徒育成は
 - 3 地域交通網(デマンドタクシー)は

一般質問



但野 謙介 議員

産業の変化に即した 企業誘致を

問 テストフィールドの誘致、ひいては企業の研究開発部門を積極的に誘致することは、地方自治体による産業政策の転換点。工場誘致を強く訴えているが、一線を画している必要がある。賃金と比べ水準は大きく下がり、震災やリーマンショックなど大きな社会情勢の変化によって、撤退による失業が全国に広がった。多額の税を投入して大きな工場を建て、ラインの保守・運用するのではなく、研究開発拠点をこの地域に増やすことが重要。



民間企業が設置するイノベーション研究施設

- その他の質問
- 1 将来負担を残さぬインフラ整備を
 - 2 幼児教育を柱とした子育て支援策を
 - 3 学力向上策の検証を進めよ

質問を終えて
企業誘致の質が変化し、対応が求められている。市の充実した体制整備が不可欠。

答 今回のロボットテストフィールド、国際産学官共同利用施設により企業誘致立地性の優位性は高まる。これら施設は研究開発拠点であり、組み立て型のものづくりとは一線を画す。ロボットに関する人材育成、技術革新がこの地域に根差していく、結果地域の企業等にもそういう効果が波及していくという

良好な関係を構築していくことが必要だ。すでに進出の意思表示をしている研究部門をはじめとして、両施設の活用や今後の本市経済の影響をしっかりと見定めて対応したい。



志賀 稔宗 議員

ロボットのまちへの 道筋は



南相馬市の復興を担うロボット

問 暮らしの環境整備を進めることはもとより、税や公共料金等ソフト面での定住誘導の施策が必要では。税や公共料金の支援は難しいと考えるがバスの自動走行

問 50年先を見据えてテストフィールドを本市発展にどう生かすのか。
答 国際産学官共同利用施設でのロボット製品の改良開発への参画で技術基盤の向上が期待され、販路拡大や受注増につながる。企業業績向上は新規雇用や収入増へ、交流人口増で観光資源としても有効活用し地域経済に波及効果をもたらしたい。

問 旧避難指示区域の復興への決意を伺う。
答 旧避難指示区域の復興なくして南相馬の復興なしとの認識の下生活環境の整備、拠点施設を核とした賑わい創出等全庁あげて区域内の再生に取り組む。

- その他の質問
- 1 いじめ防止条例の制定を
 - 2 市営住宅でもアニメルセラピーの享受を
 - 3 生活道路の簡易舗装促進を

質問を終えて
「ロボットのまち南相馬」の実現で、豊かで活気に富む郷土を！
50年後が楽しみだ！

等、小中高生が夢と希望がもてるインパクトのある取り組みを継続する。
問 大雨の水害対策、河川、小川の浸食や崩落の不安箇所解消の重点的取り組みは。
答 市の大きな課題と捉えている。早急に不安解消の応急対策や本復旧を進める。

一般質問